

## ④ 令和3年度全国福祉教育推進員研修

全国社会福祉協議会主催の「全国福祉教育推進員研修」は、都道府県・指定都市域のネットワークを活かした福祉教育実践を広げるための人材養成を目的として、令和元年度から開催されています。昨年度はコロナ禍により中止となりましたが（代わって令和元年度研修修了者へのフォローアップを実施）、今年度はオンラインを活用して開催され、本県からは、学校教員1名、市町村社会福祉協議会職員4名、本会職員2名の計7名が受講しました。

全国社会福祉協議会の「福祉教育推進委員会」では、福祉教育担当者が短期間に異動するなどの事情で、福祉教育のノウハウが積みあがってこなかったこれまでの状況を踏まえて、今後5年間をめどに、福祉教育を推進するプラットフォーム構築を目指しているということです。本会でも、これまでの「志民の学び縁卓会議」に代わって、「福祉教育検討会議」を立ち上げ（後述）、過去2回の研修修了者が中心となって福祉教育推進のための協議を継続しています。

本冊子には、令和3年度研修から演習1「福祉教育プログラムを磨く」を取り上げ、全国福祉教育推進委員の宮本朋子氏（和歌山県有田市社会福祉協議会上席主任）による演習の説明資料の一部と、本県のベストオブカリキュラムとなった東海村社会福祉協議会・川上有里主任による「地域で暮らす障がい者の生活を知ろう」を掲載しました。いずれも、数時間分のカリキュラム構成ですが、部分的に、あるいは組み合わせて実施することも可能ですので、柔軟に今後の福祉教育プログラム検討に御活用ください。

また、本冊子データとともに、厚生労働省及び文部科学省からの行政説明資料データを本会ホームページに掲載しましたので、ぜひ御一読いただきたいと思います。厚生労働省データには「地域共生社会について」、文部科学省データには「コミュニティスクールについて」などの内容が含まれています。

茨城県社会福祉協議会ホームページアドレス  
<https://www.ibaraki-welfare.or.jp/>



令和3年度 全国福祉教育推進員研修 R3.9.6

# 演習1

## 「福祉教育プログラムを磨く」

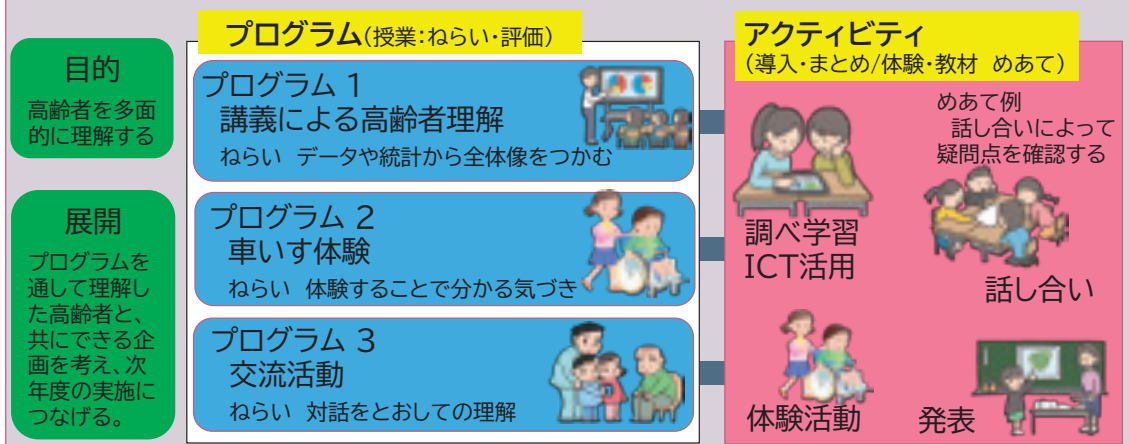


先にちょっと整理！

「カリキュラム」と「プログラム」と「アクティビティ」の違いって？

学校編

### カリキュラム(単位)「高齢者理解をととして共にできることを探そう！」



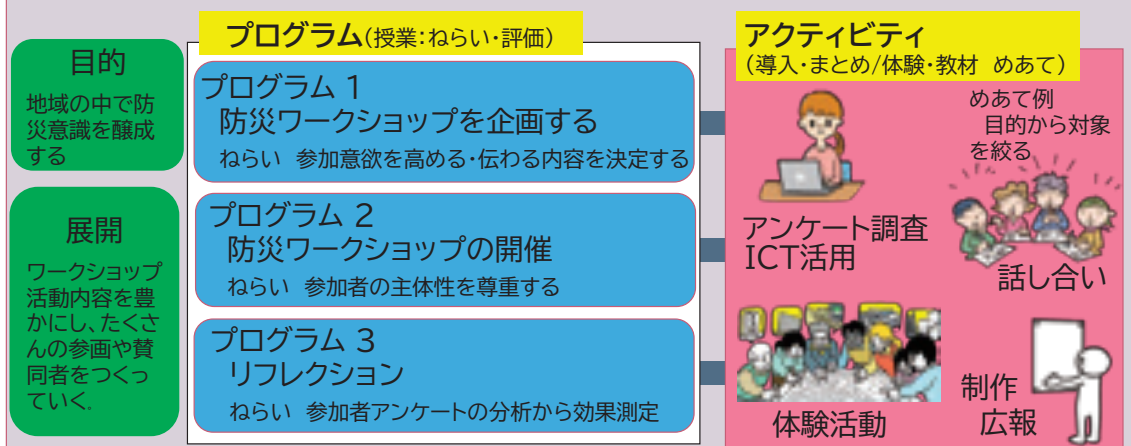


先にちょっと整理！

「カリキュラム」と「プログラム」と「アクティビティ」の違いって？

地域編

## カリキュラム(単元)「地域で防災教育を広げよう！」



いつも意識化しておきたい大事な理念

## 「地域福祉は福祉教育にはじまり福祉教育に終わる」

普遍性

- たった一度の授業や機会として捉えていないか  
その先に続く“暮らし”に思いを馳せているか

主体性

- 地域で多様な方と“共に生きる主体”として捉えているか

柔軟性

- 決まった型・対象にとらわれていないか

事例紹介 カリキュラムシート見本事例

## おじさんたちの町おこし×中学生



本事例の主役 おじさんたち

『チーム六桜花(ろくおうか)』

・生活支援体制整備事業での関わり

・推進員はチームづくり・サロンの立上げを  
社協職員として支援していた

・本拠地は公民館

ここに至るまでに  
たくさんの過程があり  
それこそが

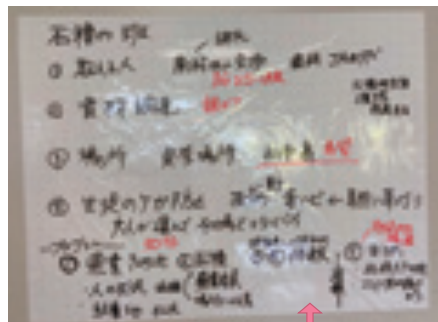
地域における福祉教育の場

◆カリキュラムづくりのプロセス



推進員＝宮本

| 六桜花がやったこと                                                     | 推進員がやったこと                           |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| ① 「閉校前に中学生に伝えたいことがある！」<br>「だいたい地域が無関心で、これは普段の地域への思いにつながることや！」 | とにかくその思いを聞く<br>授業で伝えたらどう？と提案        |
|                                                               | ② 中学校に代弁・交渉 → 成立                    |
| ③ 運営協議会で報告                                                    | 報告用に書類をまとめる                         |
| ④ 生徒に何を伝えるか話し合い                                               | 話し合いの見える化・サポート                      |
| ⑤ テーマ決定                                                       | 足りないテーマを受け持つ協働者を探す。ゲット！<br>有田振興局農地課 |



※ 閉校目前なので生徒数は少ない

| 六桜花がやったこと | 推進員がやったこと                                |
|-----------|------------------------------------------|
| ⑥ 授業案を作成  | 授業の組立を説明<br>今どきの授業のやり方<br>～主体的・対話的・深い学び～ |
| ⑦ みんなで共有  | バランスはどうか？<br>一緒にの進捗になっているか確認             |

元校長をアドバイザーとして連れてくる！



市教委  
コミスク推進員

「生徒らに考えさせなあかん！」

「大人は柔軟に考えられるように準備しよか」

実際におじさんが作ったプログラム

| 学年   | 科目 | 単元     | 学習目標                    | 学習内容                 | 評価      |
|------|----|--------|-------------------------|----------------------|---------|
| 中学1年 | 国語 | 小説の読み方 | 小説の構造を理解し、登場人物の心情を読み取る。 | 小説の読み方、登場人物の心情を読み取る。 | 読解力、読書力 |
| 中学2年 | 国語 | 小説の読み方 | 小説の構造を理解し、登場人物の心情を読み取る。 | 小説の読み方、登場人物の心情を読み取る。 | 読解力、読書力 |
| 中学3年 | 国語 | 小説の読み方 | 小説の構造を理解し、登場人物の心情を読み取る。 | 小説の読み方、登場人物の心情を読み取る。 | 読解力、読書力 |

| 六桜花がやったこと           | 推進員がやったこと               |
|---------------------|-------------------------|
| ⑧ 生徒にプレゼン<br>【事前学習】 | ・おじさんを見守り時間管理<br>・板書で整理 |



①東燃と歩んだ町  
～自転車で巡回学習～



③オリジナル手袋を企画  
～地場産業(軍手)～



②石碑からみえるふるさと  
～フィールドワーク～



④初島の農業  
～石積み体験をととして～

| 六桜花がやったこと                                                              | 推進員がやったこと                 |
|------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| ⑨ 授業スタート 計5時間枠<br>1時間目<br>教室での調べ学習や役割分担<br>2・3時間目 地域へ<br>4・5時間目 共有とまとめ | すべての授業をまわり、気持ちを高めるフィードバック |

# 1 石油産業の歴史 班



おじさんもヘルメットを被って一緒に自転車移動



## 2 石碑めぐり 班

ネット・図書の本での調べ学習



戦争の歴史にも触れる



昔の人はどうやってつくったの??



## 3 地場産業 手袋 班



たくさんの工程を回る



モノづくりへの思い  
ふるさとへの思いを知る

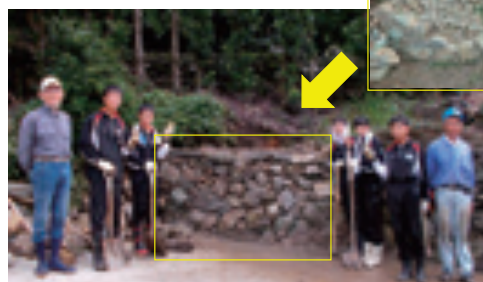
#### 4 農業 石積み 班



みかんの歴史・持続可能な農業のための課題などを知る



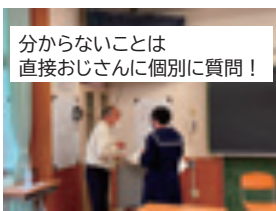
どうしていいかわからず、指示が出るまで立っていた生徒たちが、徐々に声掛けあって一緒に岩を持ち上げたり、どこへ石を入れるか話し合うなど、たった2時間でも夢中になっていく姿を見せてくれた。



| 六桜花がやったこと               | 推進員がやったこと               |
|-------------------------|-------------------------|
| ⑩ 生徒たちのまとめをサポート         | 追加質問に答えるために、おじさんを追加で学校へ |
| 地域の皆さん・保護者と共に生徒の発表を見守る。 |                         |



分からないことは直接おじさんに個別に質問！



生徒・保護者・地域の方への報告

→ 共感者 増